

児童生徒の歯科保健指導から ～その延長線上にある歯周病予防の重要性～

公益社団法人東京都歯科衛生士会

日本歯周病学会地域活動賞の栄誉を拝し、深謝の念に堪えません。当会は、歯みがき指導という形で歯科保健指導を地域の小中学校に赴き実施して参りました。未だ、東京都において全ての子供達がかかりつけ歯科医院を持ち、良好な口腔環境を維持しているとは言い難いと感じております。そのような中、歯周疾患予防の第一歩となるこの時期に自立型健康観の育成を目的とし、歯をみがくという行為を単なる習慣としての実技習得ではなく、歯周疾患を知り、その原因を理解し、口腔の健康についての意識を高めることが重要であると思います。歯周疾患に関し、生涯にわたる口腔健康管理が重要なことは言うまでもありません。当会は独自の指導要綱に沿い、工夫を重ねた視覚媒体を活用し、簡潔な言葉・表現で児童生徒に接しております。その活動を評価することは難しいのですが、アンケート調査という形で、意識調査を行いましたので、活動の一例としてご報告させていただきます。